



नेपाली दक्ष कामदार जापान लैजाने बारे नेपालमा एक विशेष कार्यक्रम सम्पन्न

840 Shares

लेखक

- एन्भारएण्ड जापानले गर्दा ऐतिहासिक पहल, नेपाली विद्यार्थीले पाउने भए कामसँगै छात्रवृत्ति
- जापानमा फेरि अर्को एक नेपालीको निधन
- अंगुल्को दाना अङ्किएर टोकियोमा ४ वर्षिय नेपाली बालकको निधन, शनिवार अन्तिम श्रद्धाञ्जली
- शिवा मल्ल उपचारार्थ सहयोगको

日本の東京に本社があり、特定技能人材（介護）の受け入れに力を入れている株式会社ヒューマンアイがネパールの首都カトマंडूで特別セミナーを開催し、技能のあるネパール人材の日本への受け入れについて説明会を行った。

介護に関する技術及び言葉を学び、介護分野にて日本で働きたい希望者向けに説明会を開催した。ヒューマンアイの桐生一郎会長は「ネパール人は笑顔が素敵で、皆と仲良くなる。世話する精神も旺盛なので介護分野の人手不足にはネパール人が良いとターゲットを絞りました」と述べた。

説明会で桐生一郎会長は、日本政府が特定技能の新たな在留資格制度を導入した経緯及び11か国の14業種（現在は12業種）5年間（2019年4月～）で34万5,150人を受け入れることを目標になっているなど、制度について詳しく説明を行った。

ヒューマンアイでは日本にて3,300名以上の派遣スタッフ等が働いており、そのうちネパール人は500名以上いて、ネパール人の人懐っこい性格を理解していると語った。

ヒューマンアイはバラジュのマチャポカリに特定技能の研修センター（SEWA NEPAL）を設立し、活動を進めている。

研修センターの校長を務めるラム・プラサド・シャルマによると、介護に関する技術や言葉を身に付けて日本で内定をもらっている方の数が日に日に増加していると語った。

ヒューマンアイの一行がネパール滞在中に労働省、海外雇用局、観光庁や政府観光局などの政府関係者等と面会し、両国の互惠関係について意見交換をした。